

## 2015年農林業センサス結果の概要（中国四国）



# 1 農業経営体

## (1) 農業経営体数、家族経営体数、組織経営体数、法人化している組織経営体数

農業経営体数は、5年前に比べて中国地域が18.6%減少、四国地域が17.6%減少。(全国18.0%減少)  
 家族経営体数は、5年前に比べて中国地域が19.2%減少、四国地域が17.9%減少。(全国18.4%減少)  
 組織経営体数は、5年前に比べて中国地域が17.6%増加、四国地域が12.9%増加。(全国6.4%増加)

図1 農業経営体数(中国、四国、全国)

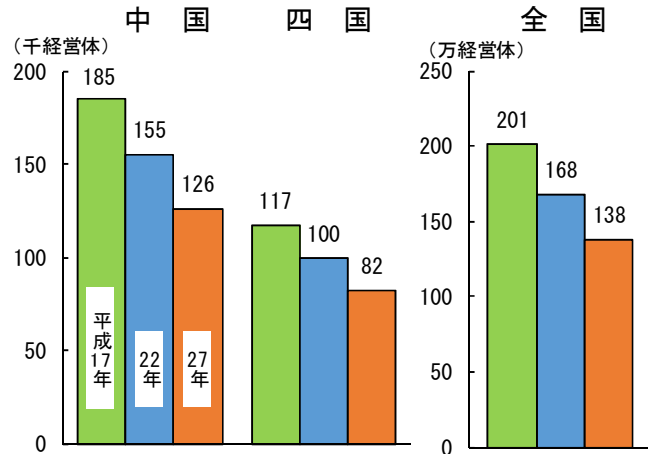
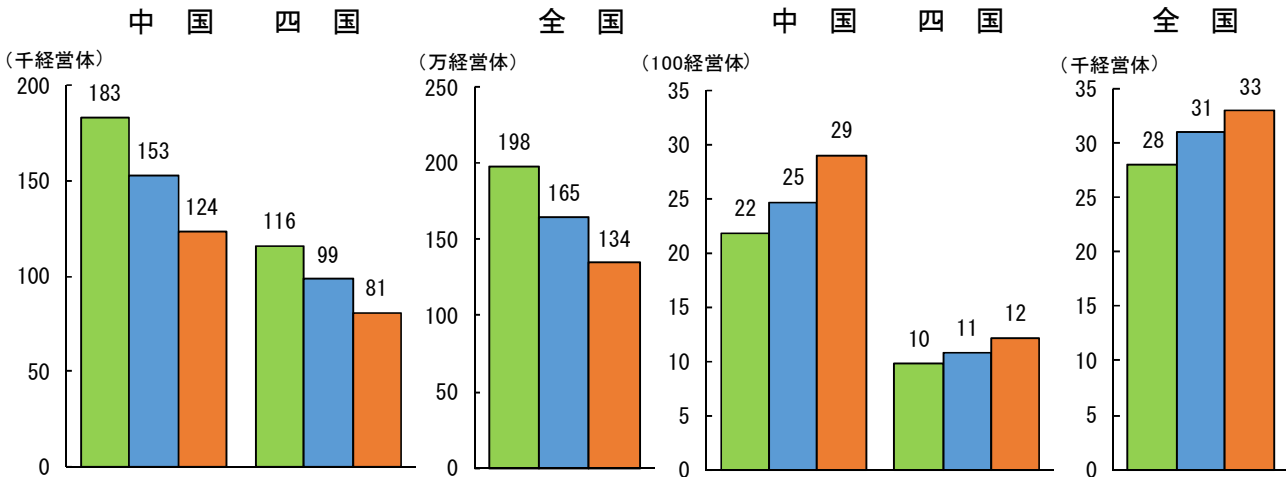


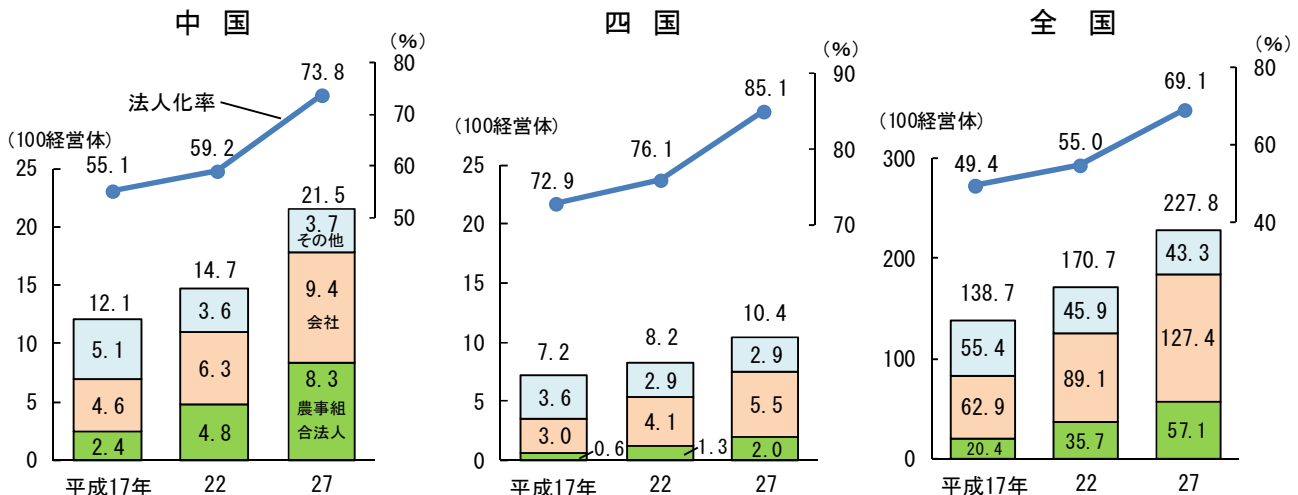
図2 家族経営体数(中国、四国、全国)

図3 組織経営体数(中国、四国、全国)



組織経営体のうち法人経営体数は、5年前に比べて中国地域が46.5%増加、四国地域が26.4%増加。(全国33.4%増加)  
 組織経営体の法人化率は、中国地域が73.8%、四国地域が85.1%。(全国69.1%)

図4 組織経営体のうち法人経営体数及び法人化率(中国、四国、全国)

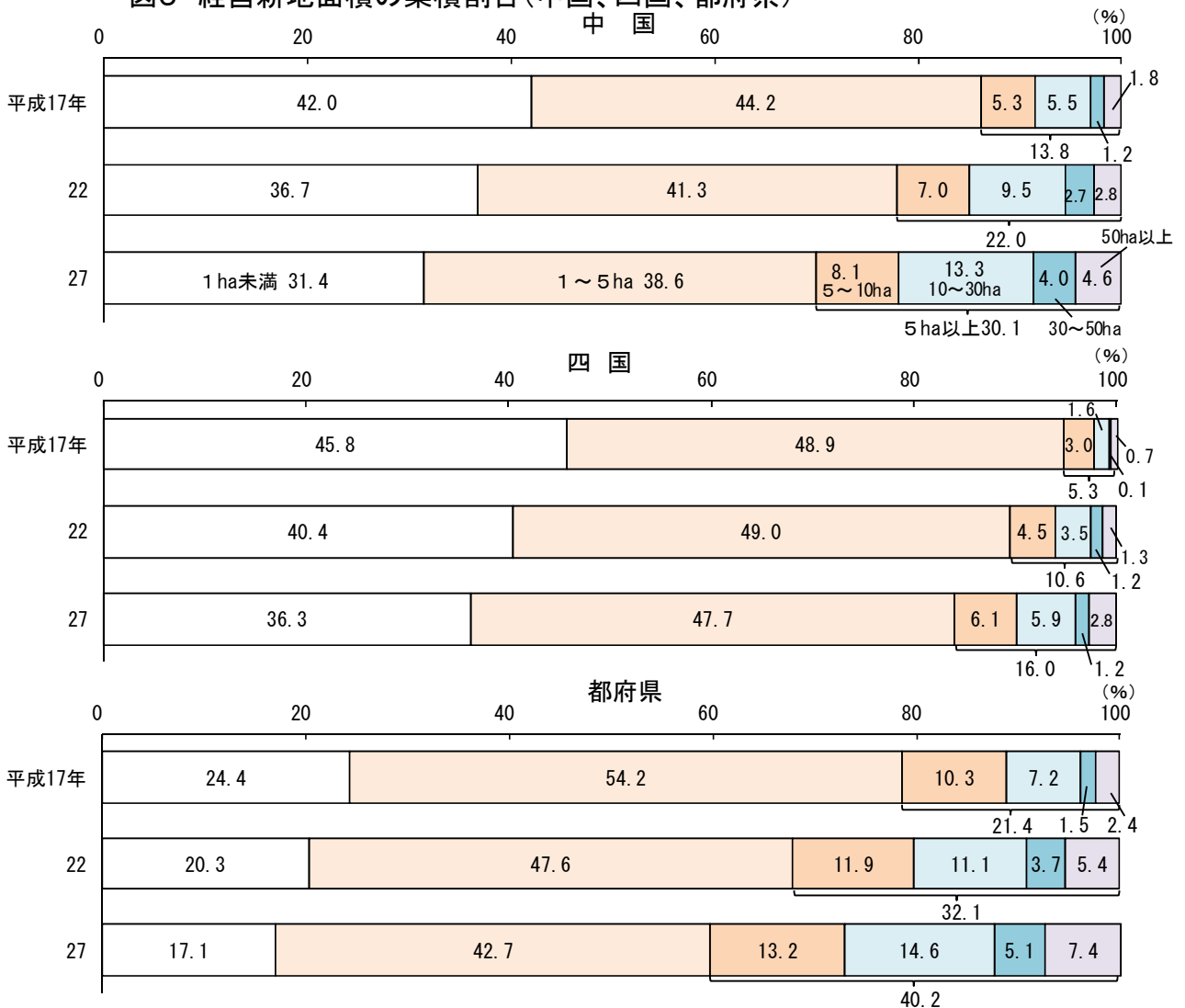


注: ラウンドのため、計と内訳の積み上げが一致しない場合がある(以下、同じ)。

(2) 経営耕地面積の集積割合

経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、5ha以上の農業経営体が5年前に比べて中国地域が8.0ポイント増加、四国地域が5.5ポイント増加。（都府県8.2ポイント増加）

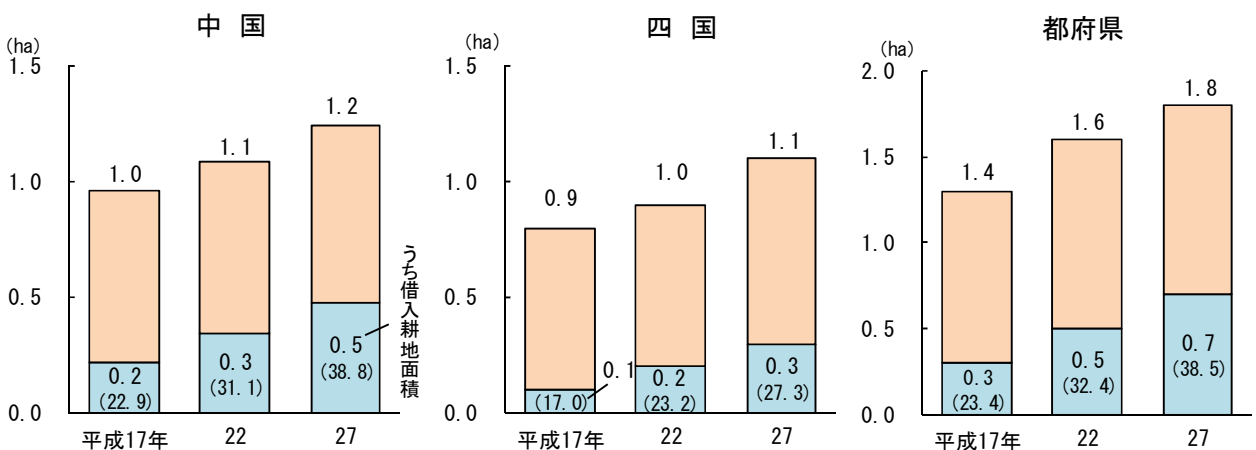
図5 経営耕地面積の集積割合（中国、四国、都府県）



(3) 農業経営体当たりの経営耕地面積の状況

経営耕地のある農業経営体当たりの経営耕地面積は、5年前に比べて中国地域、四国地域ともに0.1ha増加。  
借入耕地面積が占める割合は、5年前に比べて中国地域が7.7ポイント増加、四国地域が4.1ポイント増加。（都府県6.1ポイント増加）

図6 農業経営体当たりの経営耕地面積（中国、四国、都府県）

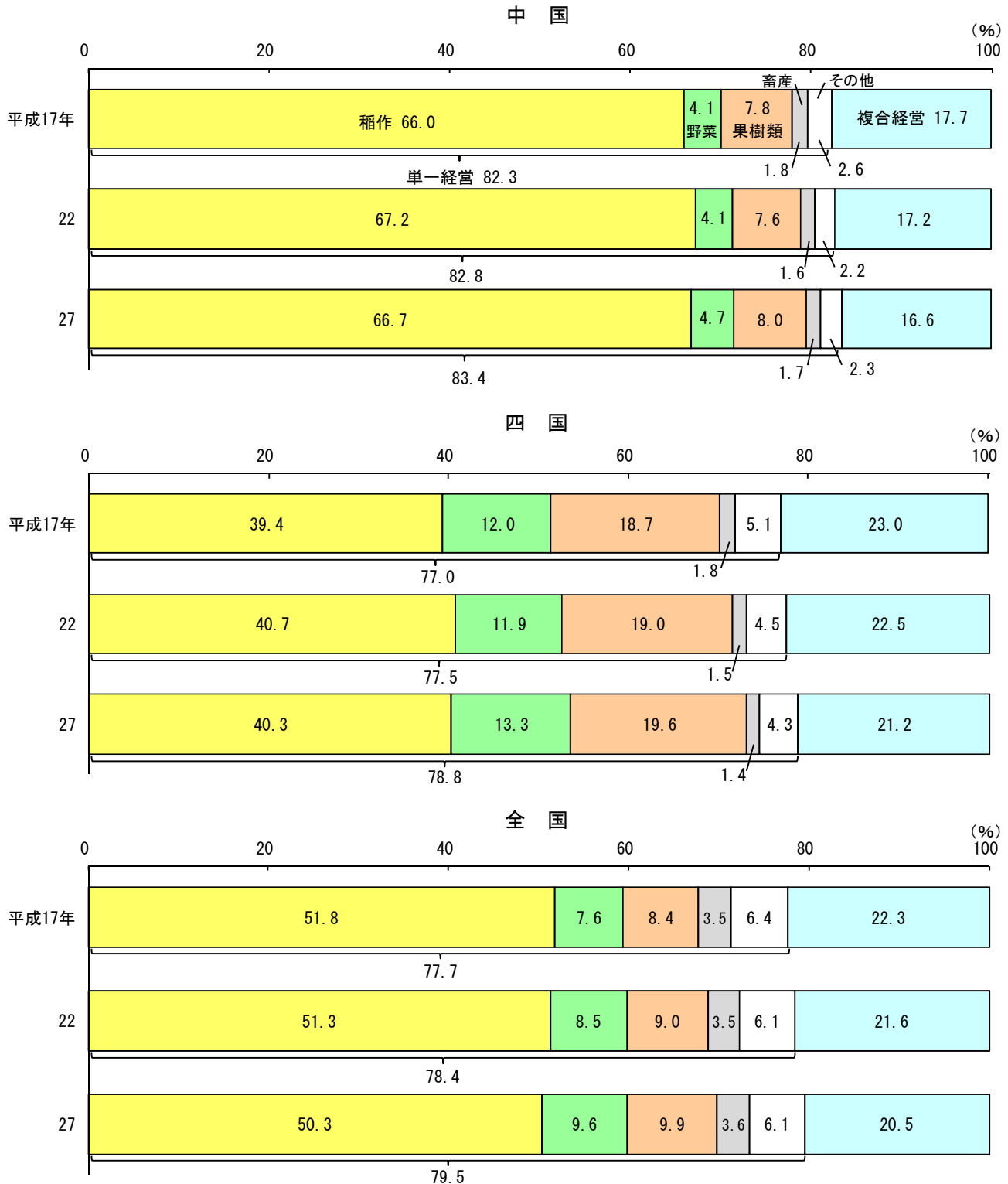


注：( )内の数値は経営耕地に占める割合

(4) 農業経営組織別にみた農業経営体数の状況

農業経営組織のうち単一経営（主位部門の農産物販売金額が8割以上の経営体）は、5年前に比べて中国地域が0.7ポイント増加、四国地域が1.3ポイント増加。（全国1.1ポイント増加）

図7 農業経営組織別にみた農業経営体数(中国、四国、全国)



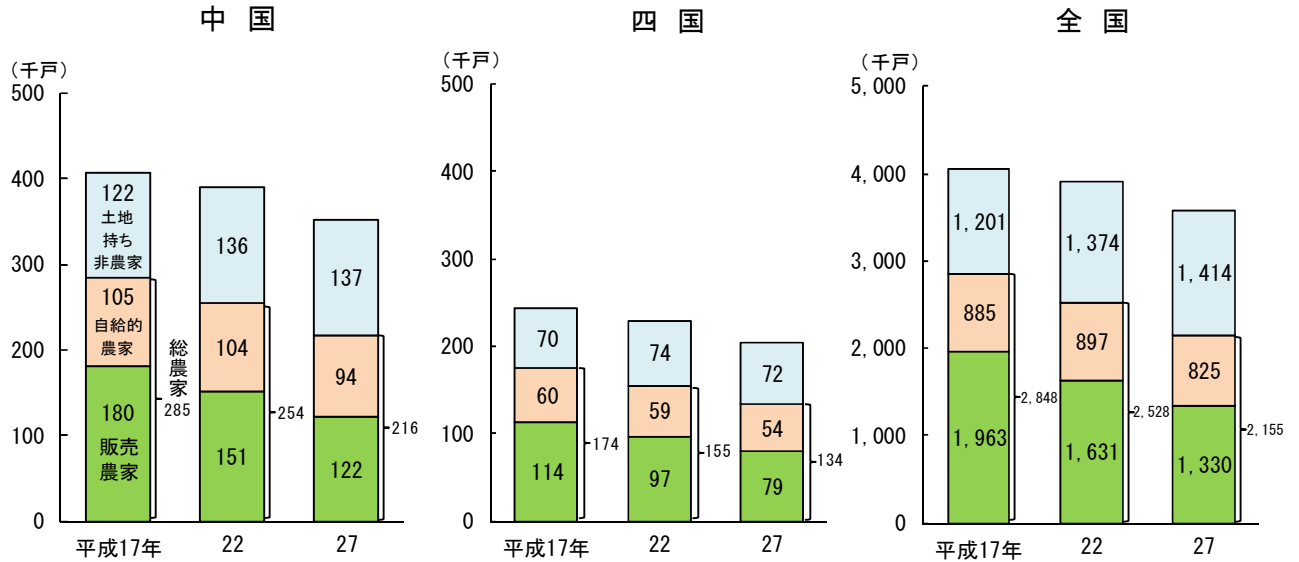
注：「野菜」は施設野菜と露地野菜の計、「畜産」は酪農、肉用牛、養豚、養鶏、その他の畜産の計、「その他」は雑穀・いも類・豆類、工芸農作物、花き・花木、その他作物、養蚕の計

## 2 総農家等

### (1) 総農家数及び土地持ち非農家数

総農家は、5年前に比べて中国地域が15.1%減少、四国地域が14.1%減少。  
販売農家は、5年前に比べて中国地域が19.4%減少、四国地域が17.9%減少。  
(全国は、総農家が14.7%減少、販売農家が18.5%減少)

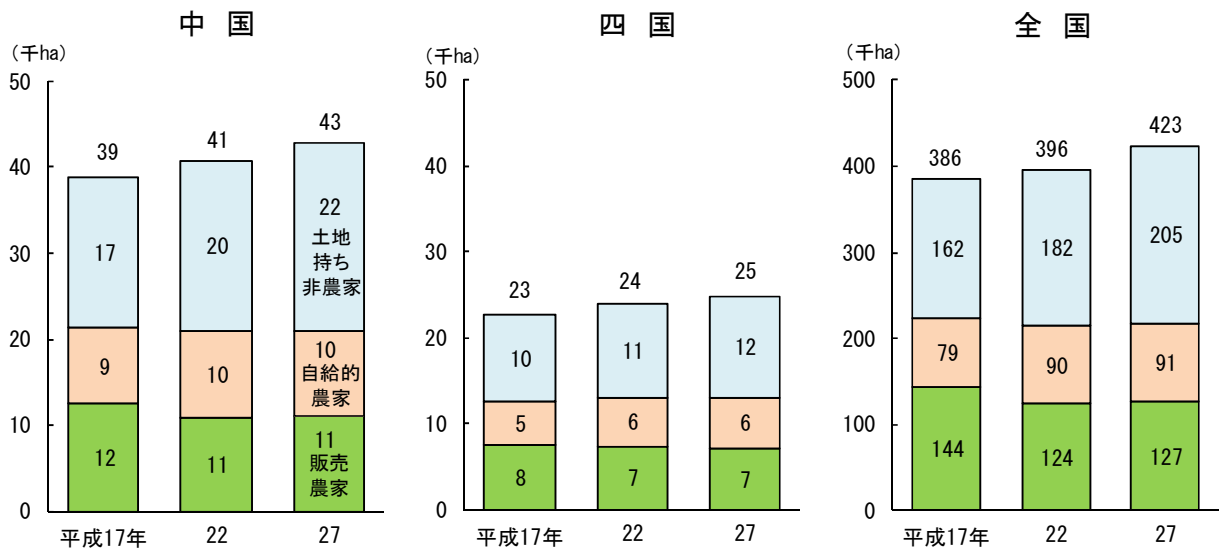
図8 総農家数及び土地持ち非農家数(中国、四国、全国)



### (2) 耕作放棄地面積

耕作放棄地面積は、5年前に比べて中国地域が4.8%増加、四国地域が3.9%増加。  
(全国6.8%増加)  
土地持ち非農家の耕作放棄地面積は、5年前に比べて中国地域が10.1%増加、  
四国地域が8.8%増加。(全国12.8%増加)

図9 耕作放棄地面積(中国、四国、全国)



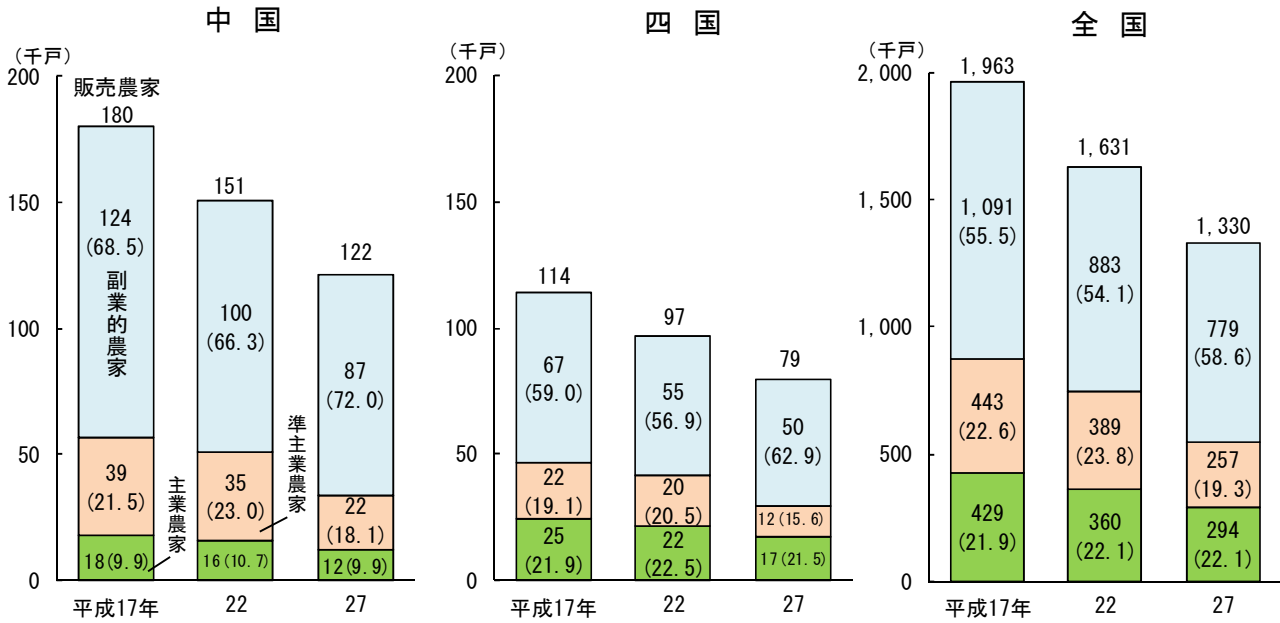
### 3 販売農家

#### (1) 主副業別農家数

主業農家は、5年前に比べて中国地域が25.3%減少、四国地域が21.6%減少。（全国18.3%減少）

主業農家数が販売農家数に占める割合は、中国地域が9.9%、四国地域が21.5%。

図10 主副業別農家数(中国、四国、全国)



注：( )内の数値は販売農家数に占める割合

#### (2) 専兼業別農家数

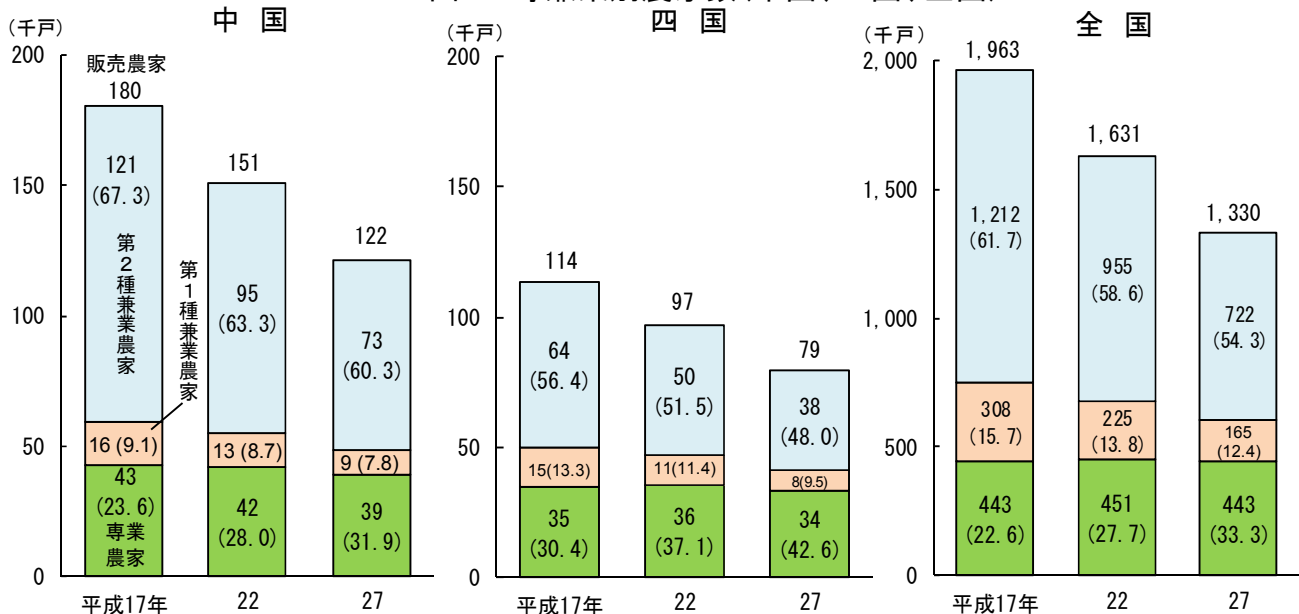
専業農家は、5年前に比べて中国地域が8.0%減少、四国地域が5.9%減少。（全国1.9%減少）

販売農家に占める専業農家の割合は、中国、四国、全国とも高まっている。

第1種兼業農家は、5年前に比べて中国地域が27.7%減少、四国地域が31.8%減少。

第2種兼業農家は、5年前に比べて中国地域が23.2%減少、四国地域が23.6%減少。

図11 専兼業別農家数(中国、四国、全国)

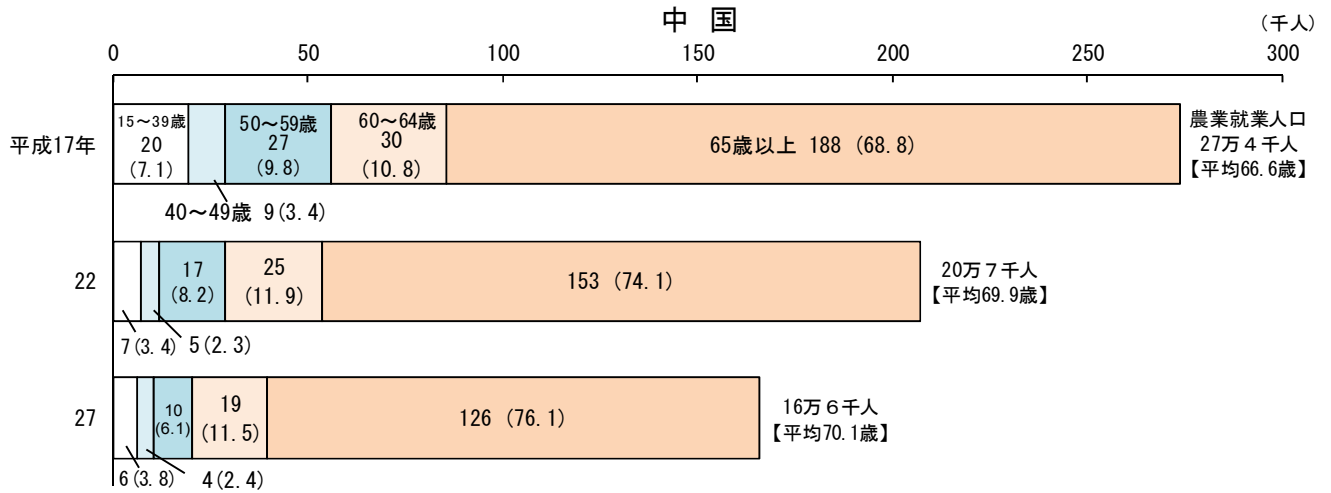


注：( )内の数値は販売農家数に占める割合

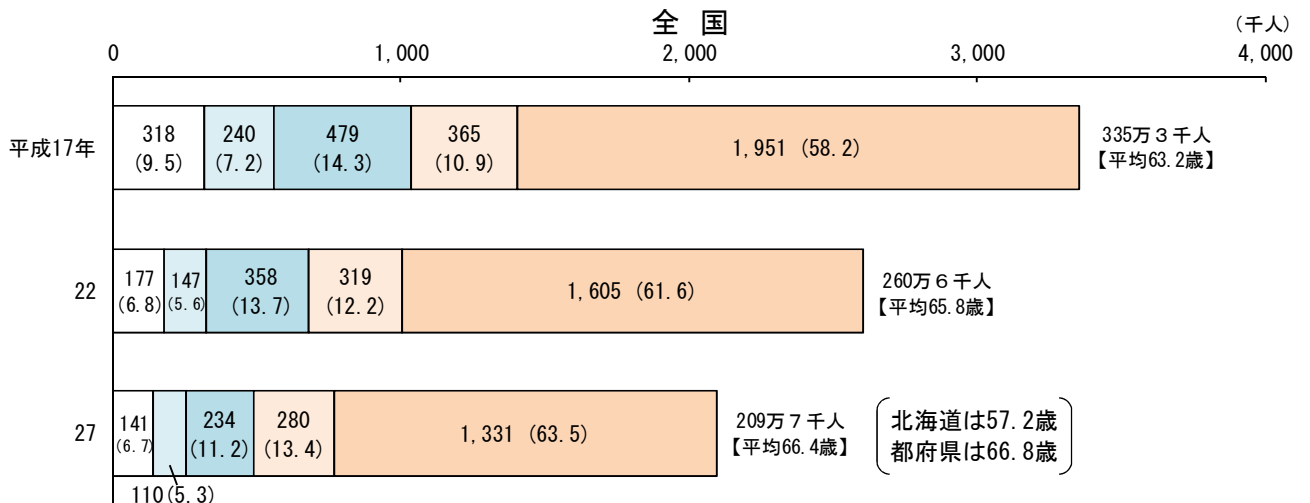
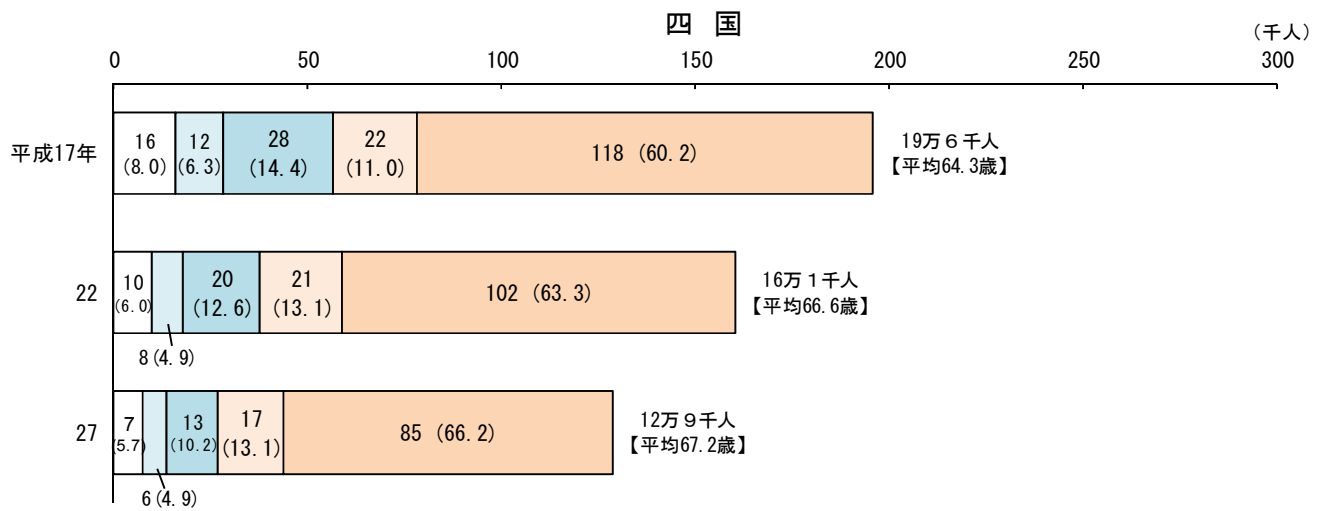
(3) 農業就業人口

農業就業人口は、5年前に比べて中国地域が20.0%減少、四国地域が19.7%減少。平均年齢は、全国平均（66.4歳）に比べて中国地域が3.7歳、四国地域が0.8歳上回っている。  
65歳以上の占める割合は、中国地域が76.1%と全国を12.6ポイント上回っている。

図12 年齢別農業就業人口の構成(中国、四国、全国)



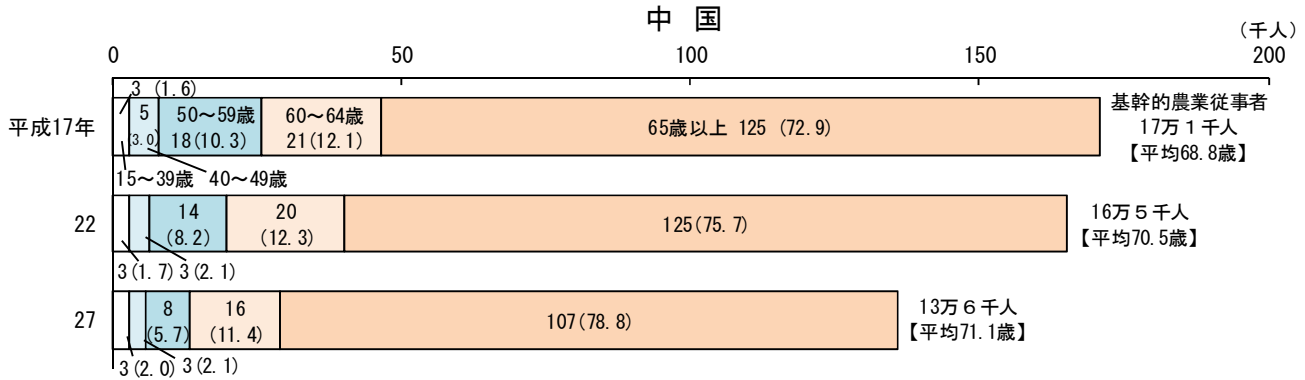
注：( )内は農業就業人口に占める割合、【 】内は平均年齢。



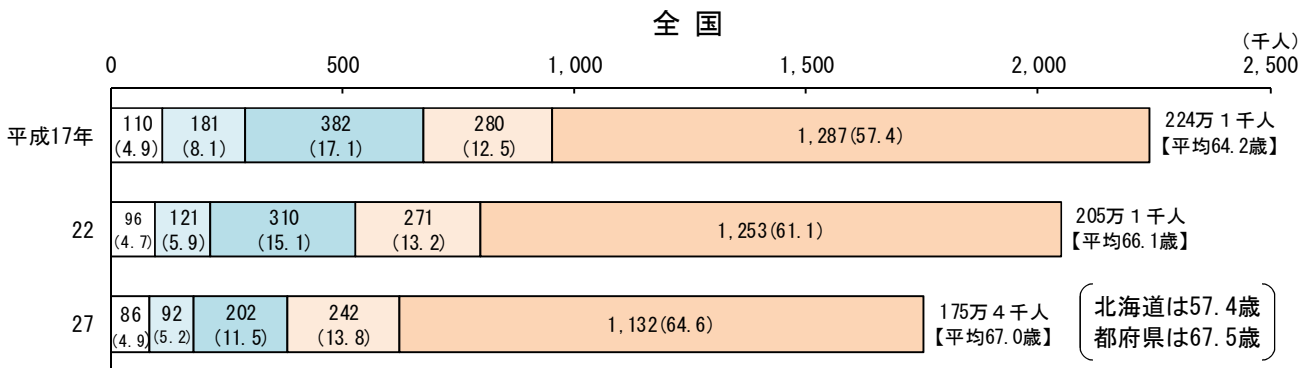
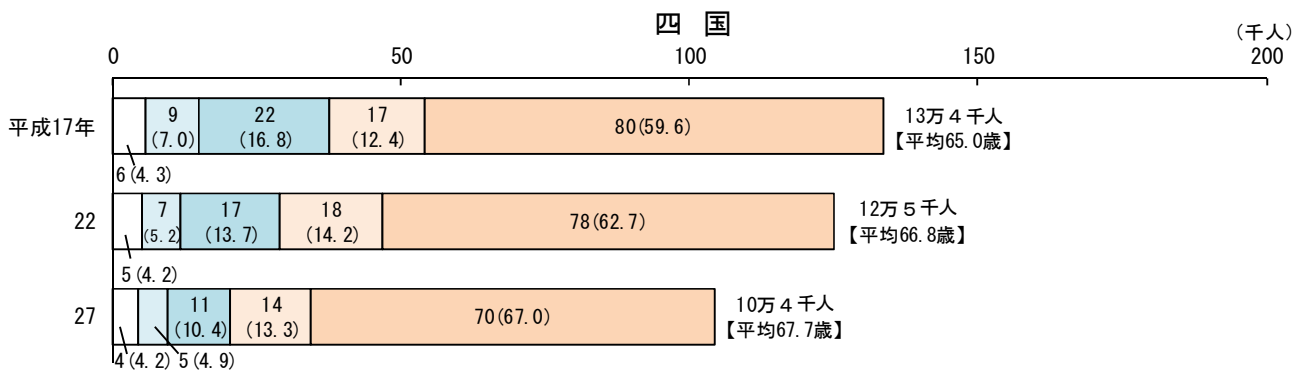
(4) 基幹的農業従事者

基幹的農業従事者は、5年前に比べて中国地域が17.6%減少、四国地域が16.6%減少。  
平均年齢は、5年前に比べて中国地域が0.6歳上昇、四国地域が0.9歳上昇。  
65歳以上の占める割合は、中国地域が78.8%と全国を14.2ポイント上回っている。

図13 年齢別基幹的農業従事者の構成(中国、四国、全国)



注:( )内は基幹的農業従事者数に占める割合、【 】内は平均年齢



(5) 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数の割合

販売農家のうち、経営主が男性の農家は中国地域が91.0%、四国地域が91.6%。  
経営主が女性の農家を含め、女性が経営方針の決定に関わっている農家は、中国地域が46.8%、四国地域が49.8%。(この設問は2015年センサスから設定)

表1 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数の割合(中国、四国、全国)

販売農家	経営主が男性の農家					経営主が女性の農家	女性が経営方針の決定に関わっている農家
	割合	経営主以外で男女が経営方針決定に関わっている農家		経営主以外で女性だけが経営方針の決定に関わっている農家	割合		
		①	②				
中国	100.0	91.0	5.1	32.7	9.0	46.8	
四国	100.0	91.6	6.5	34.8	8.4	49.8	
全国	100.0	93.3	7.3	33.1	6.7	47.1	

## 4 農業集落

### (1) 集落としての機能（コミュニティ）を持っている農業集落数

集落機能のある農業集落数は、5年前に比べて中国地域が2.3%増加、四国地域が0.8%増加。（全国0.5%増加）

表2 集落機能のある農業集落数(中国、四国、全国)

単位：集落

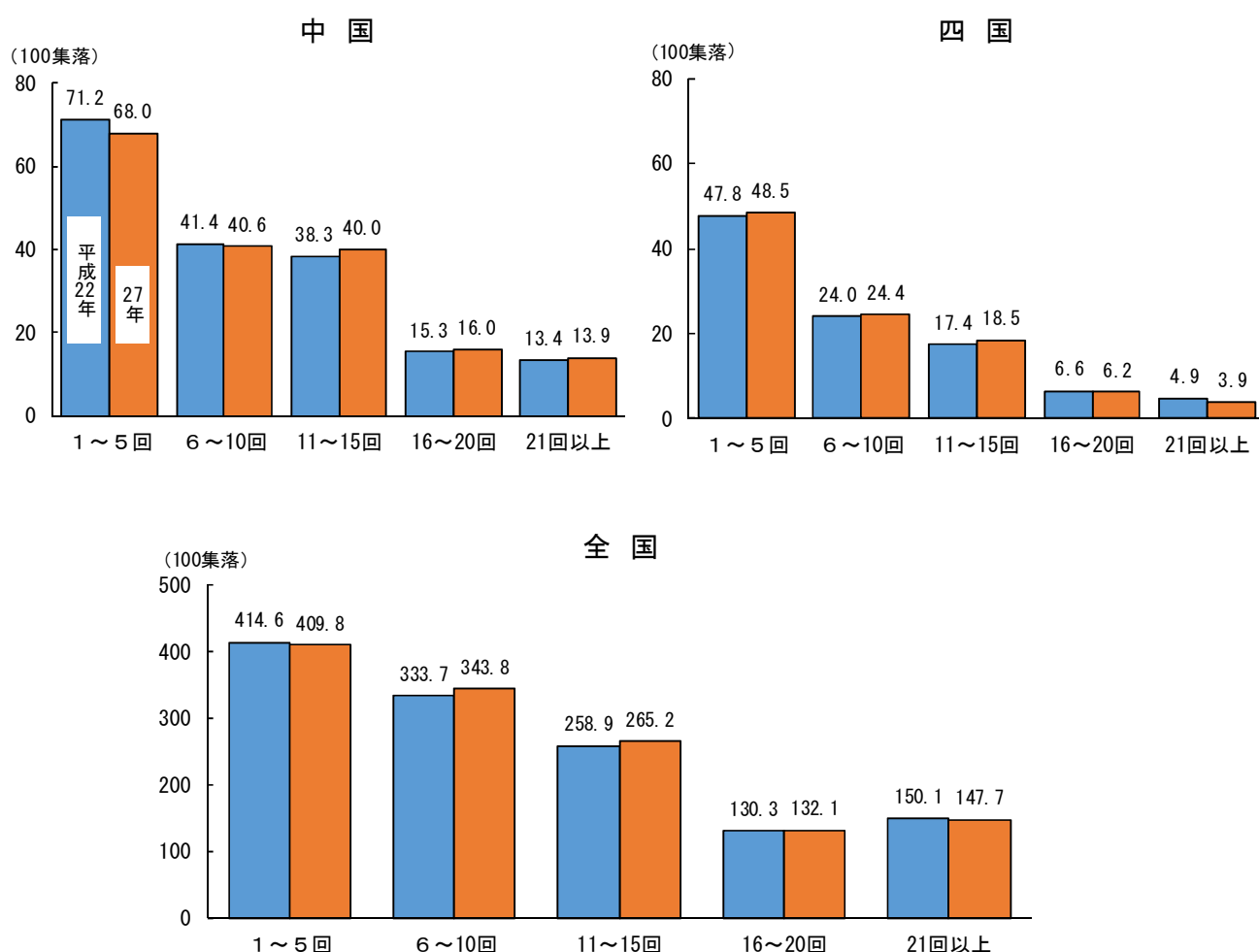
区分	中国			四国			全国		
	計	集落機能がある	集落機能がない	計	集落機能がある	集落機能がない	計	集落機能がある	集落機能がない
平成22年	19,739	18,661	1,078	11,081	10,548	533	139,176	133,660	5,516
27年	19,663	19,094	569	11,027	10,630	397	138,256	134,329	3,927
構成割合(%)									
平成22年	100.0	94.5	5.5	100.0	95.2	4.8	100.0	96.0	4.0
27年	100.0	97.1	2.9	100.0	96.4	3.6	100.0	97.2	2.8

注：集落機能については94ページを参照

### (2) 寄り合いの開催状況

寄り合いを開催した農業集落のうち、11回以上寄り合いを開催した農業集落の割合は、中国地域が39.2%、四国地域が28.2%。（全国42.0%）

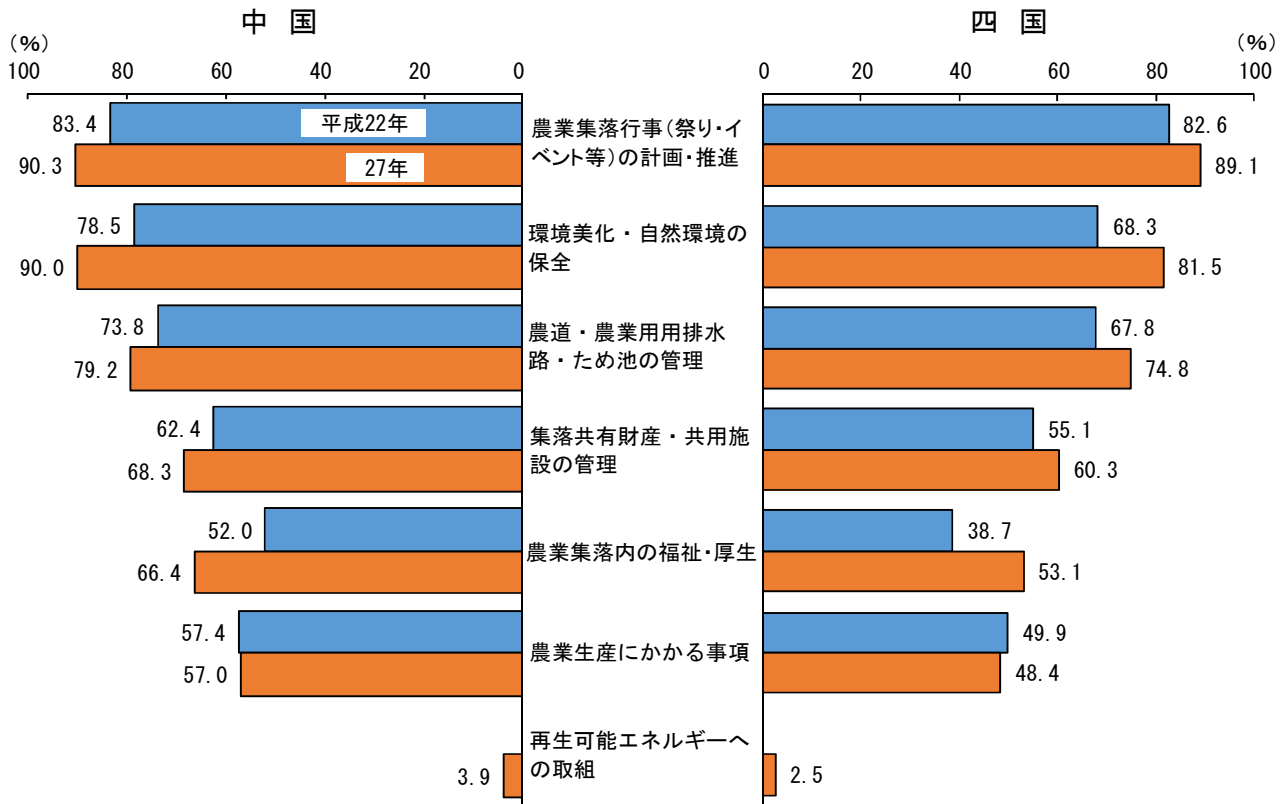
図14 寄り合いの開催回数規模別農業集落数(中国、四国、全国)



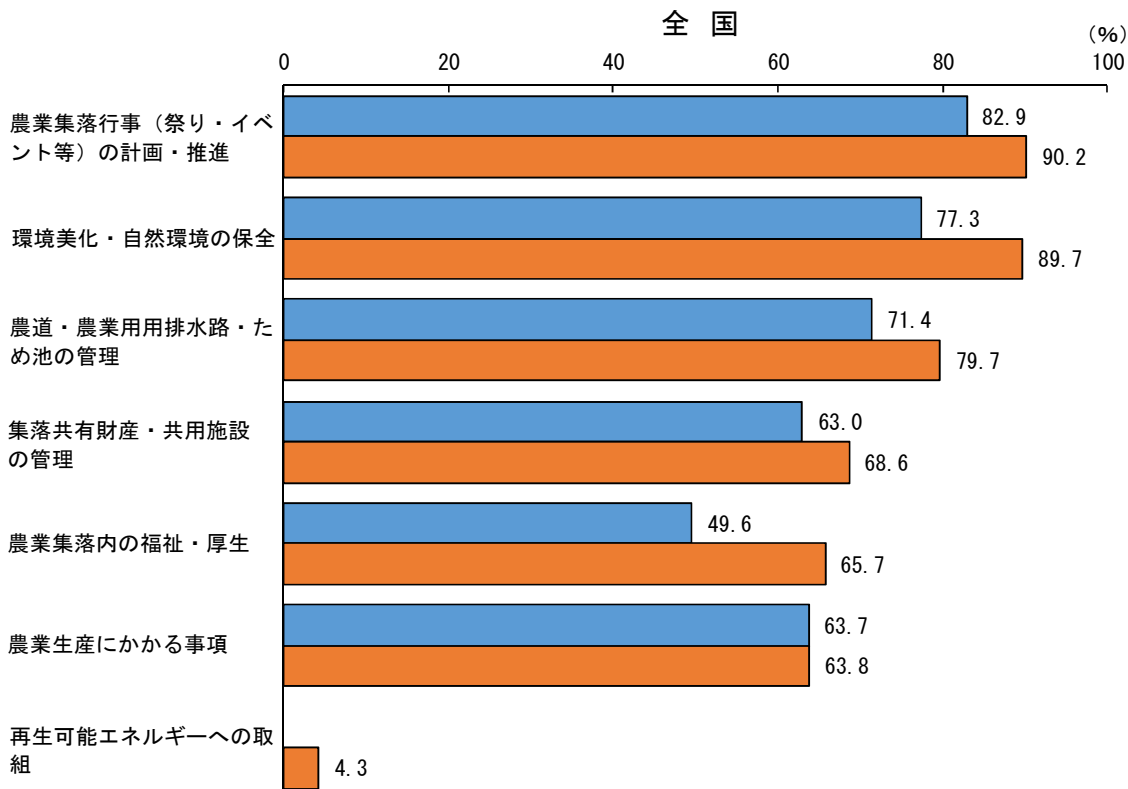
### (3) 寄り合いの議題

農業集落における寄り合いの議題は、5年前に比べて中国地域、四国地域ともに「農業集落内の福祉・厚生」が最も増加（ともに14.4ポイント）、次いで「環境美化・自然環境の保全」。

図15 寄り合いの議題別農業集落数割合（中国、四国、全国）（複数回答）



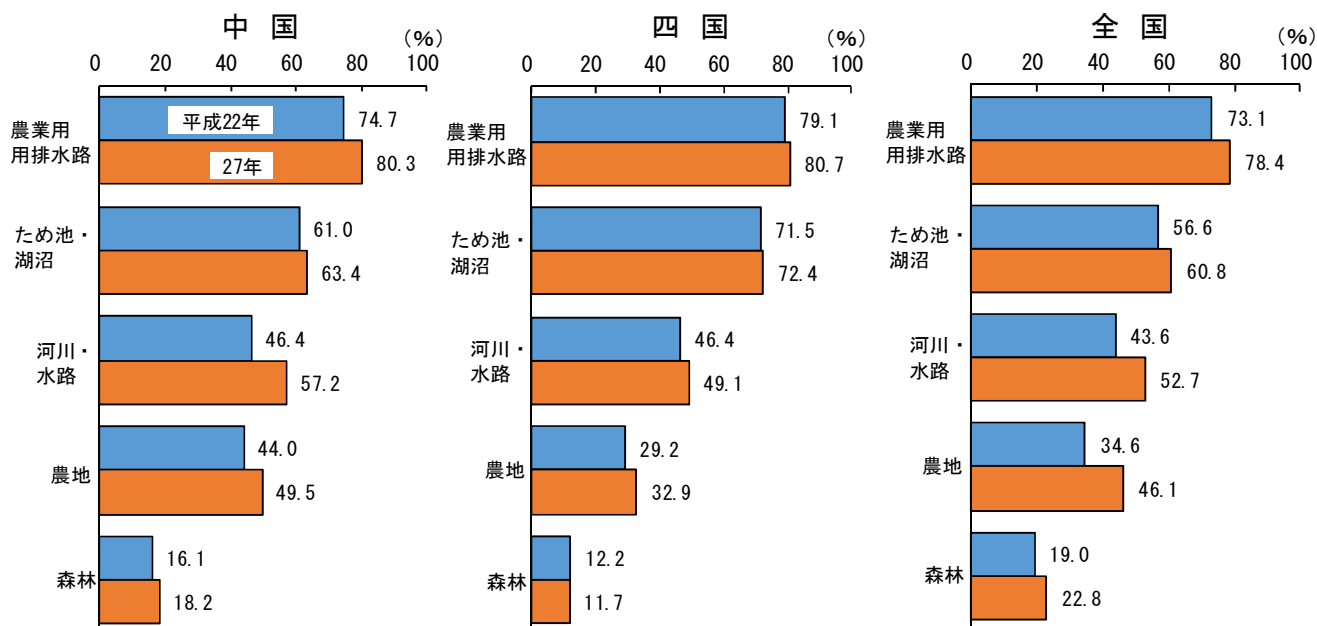
注：1 平成22年は「再生可能エネルギーへの取組」の設問は設けていない。  
2 数値は、それぞれ寄り合いを開催した農業集落に占める割合



#### (4) 地域資源の保全状況

農地や農業用排水路等の地域資源を保全している農業集落の割合は、5年前に比べて四国地域の「森林」以外のすべての資源で増加。

図16 地域資源を保全している農業集落数割合(中国、四国、全国)



#### (5) 活性化のための取り組み状況

活性化のための取り組みを行っている農業集落の割合は、中国地域は「環境美化・自然環境の保全」が最も多く84.0%、次いで「伝統的な祭り・文化・芸能の保存」が81.8%。四国地域は「伝統的な祭り・文化・芸能の保存」が最も多く81.2%、次いで「環境美化・自然環境の保全」が74.0%。（この設問は2015年センサスから設定）

図17 活性化のための取組を行っている農業集落数割合(中国、四国、全国)

